

## 臨時休業中(5/6 水まで)の課題 (第2学年)

### ※取り組み内容は全て評価の対象とします

国語科	<p>&lt;普通科・災害科学科共通&gt;</p> <p>●現代文B</p> <p>以下の課題を、ノートまたはルーズリーフに書き、新しいクラス番号と名前を書いて、臨時休業明け最初の授業で提出してください。</p> <p>①教科書 P14～P19 の評論『手の変幻』を読み、100 字以内で要約する</p> <p>②『手の変幻』から意味が分からない語句や重要と思われる語句を自分で 10 個以上抜き出し、その意味を調べて書く</p> <p>●古典B</p> <p>テキスト『基礎古典(古文・漢文)』の P56～P59 及び P66～P71 の問題を解き、自己採点をして、臨時休業明け最初の授業で提出してください。</p>
地歴公民科	<p>&lt;普通科&gt;</p> <p>●世界史A</p> <p>教科書 P14～P21, P24～P27 を精読してください。また、教科書の太字を中心に覚えてください。臨時休業明けに、教科書 P14～P21, P24～P27 の範囲から小テスト(1問1答形式, 問題数 30 問程度)を行い、結果を評価します。</p> <p>●世界史B</p> <p>教科書 P4～P27 の 6 行目までを精読してください。また、教科書の太字を中心に覚えてください。臨時休業明けに、教科書 P16～P27 の 6 行目の範囲の小テスト(1問1答形式, 問題数 30 問程度)を行い、結果を評価します。</p> <p>●日本史A</p> <p>①レポート</p> <ul style="list-style-type: none"><li>教科書 P6～P11 を精読してください</li><li>教科書 P7, P9, P11 の「課題にアプローチ」3つから1つ選び、レポートを作成してください。様式は自由ですが、A4 版用紙 2～3 枚程度にまとめて、5月7日(木)に提出してください。</li></ul> <p>②教科書の精読と要約</p> <ul style="list-style-type: none"><li>教科書 P18～P25 を精読してください</li><li>ノートに要約し、5月7日(木)に提出してください。</li></ul> <p>臨時休業明けに、教科書 P18～P25 の範囲小テストを行い、結果を評価します。</p> <p>●日本史B</p> <p>①教科書 P8～P22 を精読する</p> <p>②①の範囲をノートに要約し、5月7日(木)に提出する</p> <p>※臨時休業明けに、教科書 P8～P22 の範囲の小テストを行い、結果を評価します。</p> <p>③①, ②が終わったら、教科書 P23～P33 を精読する</p> <p>●地理A</p> <p>教科書 P1～P23 をよく読んでください。また、中学校で学んだ地理の内容の復習や、世界の国々や都道府県の位置をきちんと覚えてください。</p> <p>●地理B</p> <p>地理B教科書 P28～P35 をよく読んでください。また、中学校で学んだ地理の内容の復習や、世界の国々や都道府県の位置をきちんと覚えてください。</p>

	<p>&lt;災害科学科&gt;</p> <p>●世界史 A</p> <p>教科書 P14～P21, P24～P27 を精読してください。また、教科書の太字を中心に覚えてください。臨時休業明けに、教科書 P14～P21, P24～P27 の範囲から小テスト（1問1答形式、問題数 30 問程度）を行い、結果を評価します。</p>
<p>数 学 科</p>	<p>&lt;普通科・災害科学科共通&gt;</p> <p>4月8日(水), 15日(水)に与えた課題にはきちんと取り組んでいるでしょうか。これらの課題に加え、下記の課題に取り組み、5月7日(木)に提出してください。</p> <p>●4プロセス数学 I</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2次関数 130～153, 155～158, 160～176, 178, 180～215</li> <li>・三角比 225～233, 236～238, 240～269, 272～290</li> </ul> <p>春休み課題ノートの続きに解いてください。分からない問題は、教科書やノートに戻ってきちんと復習してください。数研出版の動画を見て復習することもできます。</p> <p>特に、「平方完成」「2次不等式」「三角比の値」については、数学Ⅱ・Bにも大きく<b>全員が完璧に押さえて欲しい内容</b>です。</p> <p>上記課題に物足りない人は、「リンク数学演習Ⅰ・A」の basic 問題にも挑戦してください。</p>
<p>理 科</p>	<p>&lt;普通科&gt;</p> <p>●生物基礎（文系・理系共通）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①教科書をひと通り読んでください。読むことで1年間の学習の流れをつかめます。</li> <li>②教科書の第1節(P18～P33)をじっくりと読んでください。</li> <li>③ノートまたはルーズリーフ等を準備し、教科書 P23「参考」の図を描き写してください。加えて、自分で興味・関心のあるウイルスや単細胞生物の大きさを調べて、ノートの図にそのイラストと大きさを書き加えてください。なお、ウイルスや単細胞生物の種類は5種類以上とします。</li> </ol> <p>※図には色を塗っても塗らなくても可。</p> <p>※自分で興味・関心のあるウイルスについては、教科書 P22 記載の3種類を除く。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>④教科書 P26, P27「発展」の図（動物細胞, 植物細胞）を描き写し、各部名称（拡大図を含む）を記入してください。加えて、名称の側(そば)にその働きを簡単な文章で書き込んでください。</li> </ol> <p>※細胞1つにつきノート半ページを使って大きく描くこと。</p> <p>※働きの書き込みについては、例として「ミトコンドリア：呼吸の場であり ATP を生産する」程度の書き込みとする。</p> <p>※図には色を塗っても塗らなくても可。ただし、P27 の図の右下に書かれているとおり、微細構造の名称については青, 赤, 緑色で識別して記入すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>⑤教科書 P32「参考」の図（図 a 植物のからだの成り立ち, 図 b 動物のからだの成り立ち）を描き写してください。</li> </ol> <p>※植物, 動物の図はそれぞれノート半ページを使って大きく描くこと。</p> <p>以上、③～⑤については、臨時休業明けの最初の授業で回収し、取り組み内容を評価します。</p> <p>●物理基礎</p> <p>対象期間 4月24日(金)～5月6日(水)</p> <p><b>課題</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①物理基礎のノートに下記の項目について書く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 自由落下の特徴      (2) 鉛直投げ上げの特徴      (3) 水平投射の特徴      (4) 斜方投射の特徴</li> </ul> </li> <li>②教科書 <ul style="list-style-type: none"> <li>例題 1 (P15)   例題 2 (P24)   例題 3 (P25)   例題 4 (P31) をノートに写す。</li> </ul> </li> </ol>

③教科書

問 18 (P27) 問 19 (P29) 問 20 (P29) 問 21 (P31)

④教科書

章末問題 (P37) の①～⑤をノートに解いてください。

注意

課題の提出については5月7日(木)以降の登校日、授業などで指示します。

●SS化学

前回の指示内容を継続してください。4/25～5/6の12日分を追加します。

<災害科学科>

●自然科学と災害B

第2回の課題プリントがあります。詳細は平賀先生から指示があります。

●生物

教科書を熟読してください。

第1編 第1章の部分：ここまでが5月に学習する内容です。

第2章の部分：6月に予定している内容です。

●物理

対象期間 4月24日(木)～5月6日(水) 4時間分

課題

物理のノートに以下のことをまとめてください。または解答してください。

①教科書例題を写す。

例題1 (P11) 例題2 (P18)

②教科書の章末問題 (P22) の①～③を解答する。

③次の用語について教科書をよく読みノートにまとめてください。

(1) 力の作用点と力の作用線 (2) 力のモーメント (3) 剛体 (4) 並進運動と回転運動

(5) 剛体のつり合いの条件 (6) 力の合成 (平行でない2力)

(7) 力の合成 (平行で同じ向きの2力) (8) 力の合成 (平行で逆向きの2力)

(9) 偶力 (10) 重心

注意

課題の提出については5月7日(木)以降の登校日、授業などで指示します。

●化学

前回の指示内容を継続。4/25～5/6の12日分を追加します。

英語科

<普通科・災害科学科共通>

以下の課題に取り組み、これまでに与えた課題とともに、5月7日(木)に提出してください。

●教科書・ワークブック

①コミュニケーション英語Ⅱの教科書 Lesson 1 の Section 1 ～ 4 まですべて、辞書等を活用し、自力で和訳を作成してください(英文は特に書く必要はありません)。ノートまたはルーズリーフに書いて提出してください。

②ワークブック P4～P9 を自分で解き、解答解説を読んで自己採点を行って提出してください。

●スクランブル

P354～P373 をノートまたはルーズリーフに、訳を1回、英語を6回ずつ書いて練習し、提出してください。

●ターゲット1400

Section 10 を全部(901～1000)、単語帳やアプリ等を活用し、各自覚えてください。提出の必要はありません。